

しでがの通信
第 70 号
羽津小 P・T・A
編 集 発 行
発行所 羽津小学校

として保存して下さい



子供祭参加 (五月五日)

フレッシュな感覚で

ひとあじ違った PTA活動を

目次	
PTA会長挨拶	1
人間性を培う教育	2
新役員の挨拶	3
人事異動	5
教師の願い	7
昭和五十五年度役員	9
専門部だより	10

青葉若葉の好季節となりました。会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、PTA活動に格別の御理解と御協力を賜わりありがとうございます。私のような弱者が引続き会長職を仰せつかり、皆様のご期待に添えるかどうか、まことに恐縮に存じて

います。幸い本部役員さんに立派な方々をお迎えでき、まことに嬉しく存じますと共に、役員の方々をはじめ、会員の皆様方の御援助と御協力を得まして、PTA活動のため又、子供達のために一生懸命努めさせていたゞきたいと思ひます。

今年度ももうすでに新部長さんを中心に部員の方々と共にPTA活動が始まっておりますが、ごなとも部長経験は始めてという方ばかりで、フレッシュな新しい感覚で、今までとひとあじ違ったPTA活動を期待したいものです。会員の皆さんにおかれましても、一人でも多くPTA活動への御参加と、充分な御協力を賜わり、部活動を盛り上げていたゞきますよ

PTA会長 森 憲一
うにお願いいたします。

今年度は地区自治会のお骨折りのもと、夏のシーズンまでにプールを、三月の卒業式までに体育館を作っていたゞくとの事です。念願のプールと体育館が出来ますと、見ちがえるような立派な小学校になるかと思ひます。昭和四年に出来た講堂は体育館が完成すると解体されるわけですが、古い小学校の施設が又一つ消えていくのもさみしいことです。今年も一年、PTA活動発展のため、よろしく御指導と御協力賜わりますよう、かさねがさねお願い申し上げます。

人間性を 培う 教育

夫 忠 上 村 校長



風薫る新緑の好季節となって参りました。平素は学校教育のため格別の御援助、御協力を賜わり、厚くお礼申しあげます。

ご承知のように本校は、年々児童数が増加しておりますが、本年度はさらに昨年より約五〇人増え（一学級増）、三、四学級、一四一五人となり市内第一の大規模校であります。これを六、三制が発足した昭和二二年の一二学級、六八一人と比較すると、実に二倍以上の増加となり、当時を知る人々にとっては、けだし隔世の感を持たれるに相違ありません。

さて、戦後三十余年の教育が大きく見直され、ご承知のように、「豊かな人間性を培う教育を」という基本的な考えの下に、小、中学校の教育課程が大幅に改訂されまして、小学校ではすでにこの新学年度から実施の段階に入っております。

改訂の内容は、一口に申しまして、従来とは教科学習の時間を減らして（但し、一、二、三年は従来と同じ）教科以外の時間を増やし「人間性を培う教育」を重視するということとあります。これが一般的に「ゆとりの時間」といわれている時間であり、その教育活動は各校の創意工夫に委ねられています。本校では、この時間を金曜第五

限に「全校活動」の時間として置き、全児童参加のもとにその趣旨にそって意義ある活動を計画実施することになっております。（すでに五月九日、その第一回を社会的行事、「母の日」に意義づけ、「おかあさんありがとう集会」と名づけて実施済みです。）

また、この時間の活動領域としては、○安全的活動 ○勤労、奉仕的活動 ○芸能、文化的活動 ○体育的活動 ○その他の活動の五つの領域を設定して、有機的な関連と調整を図りながら実施計画を編成して参りたいと考えております。

申しあげるまでもなく「人間性を培う教育」は、ただ単にこのように限られた時間だけで行われるものでなく、学校の全教育活動を通して行われ、その実現に努めなければならぬと考えております。なお、またここで「人間性を培う教育」について特に注目したいのは、去る三月、日本PTA全国協議会（略称日P）が発表した「親の教育に対する意識調査」結果のまとめであります。

調査の中の「いま学校に一番して欲しいこと」では「成績本位でなく人間性を培う教育を」と求める回答が小学校で五一%、中学で四四%と、圧倒的に多数を占めています。現在の子どもの生活が「



学校——塾、習いごと——テレビ」といった一般的な傾向を憂慮した父母の率直な意思表明として、深く考えさせられるものであります。子どもの健全な成長に必要なものは、物の豊かさや、単なる知識量にあるのではなく、心の豊かさを求めることであって、日P調査は、このことを明示されたものとして敬意を表するとともにその願いにこたえなければならぬと思っております。

新教育課程実施の年にあたり、お子さまの教育について、いっそうのご理解、ご協力を賜わりますようお願い申しあげ、年度始めのあいさつにいたします。

副会長 小川良二

会員のみなさん、平素はPTA活動に格別のご理解とご尽力を賜わり深く敬意を表します。

はからずも私はこのたび皆様のご推挙によりPTAの副会長の大任を仰せつかりその責務の重さを痛感いたすところです。

会則にもあります様に副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会長を代行するのが私の仕事であります。森会長は二年目であり、豊富な経験を生かして専念されるフアイトマンノでありますので私などが補佐する事なく安心してしております。

今年で羽津小PTAとも最後となりませんので、この一年間、心機一転、襟を正してPTA本来の姿（PTA活動のあり方）と理想に意義を深め度いと思ひます。

最後にPTA行事に一人でも多くの会員の皆さんが参加されます事をお願い致しまして御挨拶いたします。

副会長 藤井久子

会員の皆様、日頃は、PTA活動に對しまして、御理解と御協力を戴き、ありがとうございます。私は、昨年度に引き続き、本年

新役員 の 挨拶

度も副会長の大役を課せられ、その任務の重大さを痛感している次第です。この一年間、一生懸命努力してまいります。PTA活動は、経験を重ねれば重ねる程に難かしい事だと思えてなりません。この一年間、こんな事をしては、どうだろう、あんな事をしては、どうだろうと色々脳裏を掠めますが、年度の始めに当りまして、次の事を考えています。「PTA活動は、学校の資金づくりに片寄ったり、学校の後援会的な存在だけであってはならない」という事

一年に一度の父親参観日と運動会の時に学校に出ただけで、PTA活動については全くの新人である私が、このたび いきなり本部署員として参加させていただくことになりました。未知のことが多く、皆様にご迷惑をおかけするかと思いますが、PTA活動の先輩諸氏のご指導とご助力を受けて、子供達の健全なる育成と福祉のため、父母と先生方が相互の連

書記 伊藤淳一

と思います。その場がPTAであると思ひます。この一年間、この精神を少しでも具体化出来るよう微力ながらがんばりたいと考えておりますのでよろしくお願ひします。

監査 平田幸子

五十五年度PTA活動が始まって、一ヶ月余たちました。監査の役をおおせつかりました。先輩諸氏にはじないようがんばりたいと、心を新たに致して居ります。

近年PTA活動がマンネリ化し、どこでもその対策にやんでいると言われて居ります。それだけに新らしく任を負わられた方々は、意気込みもひとしおと拝察致します。各部門で御活躍下さる委員の方々に、サイドより少しでもお手伝い出来ればと、私なりの念願をいだいて居ります。

多用化したくらしの中で、PTA活動へ異常とも思えるほどの関心を示す人もあれば、それとはさかしく、無関心の人もあります。人にはそれぞれの生き方があると申ひますもの、考えさせられることの多い日々です。どうか会員の皆様方の良きアドバイスを、そして御協力を心よりお願い致します。



一〇二	筒井 和子	給食 初美	五二五	安達 禎子	給食 康子	養護 伊藤 光子
給食	稲田千香子	伊藤 栄美	主事	田中 久次	中山 佳之	丸山 洋子
栄養士	松岡 正子	山田 芳枝	五二二	末澤 元宏	安田 光男	六二五
給食	伊藤としゑ	松井 妙	五二一	水谷 敏夫	小谷 博美	六二四
給食	市川 淳子	小林 秋次	四一五	水谷 敏夫	教頭 古市 祐治	校長 村上 忠夫
給食	山川みさ代	石咲 晴美	四一四	桜井美佐子	校長 村上 忠夫	村長 村上 忠夫
四一三	秦 佳子	倉田喜美子	三二二	平子伊都子	専科 山本 文	六二一
専科	藤井美佐江	都築きよ子	二一四	岡田ふみ子	専科 山本 文	六二二
専科	大市ます美	近藤 依子	一六六	服部ツヤ子	専科 廣瀬 松代	坂野 修一
事務補	榊原由里子	用務 水谷富美子	一五五	伊藤 静子	小柴恵美子	内山 治男
三一五	山本 和子	岩井千代子	一四四	隅田 信子	松井 茂	安藤 勤

人事異動



○退職	教諭 平野 隆子	八郷小学
講師 水野 富美	校へ	
○転出	教諭 門脇 秀雄	八郷小学
教諭 鏡味 隆雄	富田小学	
教諭 長谷部規子	鈴鹿市立 鼓ヶ浦小	
教諭 中林 るみ	三重北小 学校へ	
教諭 吉岡 くに	松阪市立 松江小学	
教諭 矢田 木角	小山田小 学校へ	
給食 大河内沙と	大矢知小 学校へ	
○転入	教諭 安達 禎子	海蔵小学 校より
教諭 坂野 修一	朝日町教 育委員会 より	
教諭 安田 光男	西橋北小 学校より	

新任挨拶

安達 禎子

百花爛漫と咲きほこる校庭の桜と、古い松の濃緑の美しさに私は一瞬われを忘れて、その光景に見とれておりました。こんなすばらしい環境に恵まれた学校に転任したことを大変うれしく思います。はじめて子どもに接して、どの子も「はい」という元気な返事に感心しました。なんと羨のゆきとどいた学校だろうと……私には子どもをひとりだちできる

社会人に育つことを心から願っています。そのためには、友達に対して思いやりの心や、がまんする心を育てたいと思います。そして一日も早く地区の皆様と親しく懇談できることを希望いたします。

人 質

坂野 修一

四月の異動で、羽津小にお世話になることになりました。以前は、三重郡朝日小で七年間勤め、ここ二年間は県教委派遣社教主事として、朝日町教育委員会で社会教育にあたってきました。さて、我々にはもちろんそんな意識は全くないのですが、ご父兄の中には、「人質」をとられているので、先生には「物」が言いにくい。」と言われる方があります。教師と親がお互いに遠慮しあっています、どうしてまともな子供の教育ができませんよう。家庭教育の立派な教師である親と学校教育の教師が協力しあってこそ、はじめて子供の教育ができると考えます。

そんなわけで、こちらも失礼なことを言うかもしれません。どうぞ皆さんもご気軽に話しかけてください。微力ですが、一生懸命がんばります。どうぞよろしく願います。

す。

安田 光男

四月より、羽津小学校に転任して、一ヶ月余りが過ぎました。市内随一の大規模校であります。が、のびのびと元気のある子どもたちの明るさ、素直さが、印象的でした。そんな子どもたちに包まれ、常に新鮮な気持ちで、充実した教育指導に励まなければ……と思っています。大人が、子どもを見る目は、勉強というせまい世界でしかないようです。もっと、子どもたちを人としてどう育てるのかという広い視野にたつて、見つめてやりたいと思います。少しでも早く、地域環境を理解し、本校教育の為、微力ですが、頑張りたいと思います。どうかよろしく願います。

末澤 元宏

本年度の移動により、四日市の北のはずれ保々小学校より転任してまいりました末澤元宏です。前任校は学級数十四と小規模校であり、出生地が富田ということ、やや強引で白黒をはっきりさせたがる性格ですが、子供のことになると労をいとわないうもりで

おります。子供たちに、羽津小学校にはやくなれ、「友達を大切に、何事にも最後まで努力する元気な子」を育てることを目標に精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

大市ます美

四月より新任として羽津小学校にお世話になることになりました。自動車道路の喧嘩から離れた静かな環境の下、校庭の桜、楓の新緑が初夏の光に映えて輝やく今、今さらながら羽津小学校で教師生活の第一歩を踏み出せるのを大変嬉しく思っております。

私は三、四年生の音楽を中心に担当させていただいておりますが、子供たちのはちきれんばかりの元気な歌声に、私自身活気づけられ楽しい日々を過ごしております。

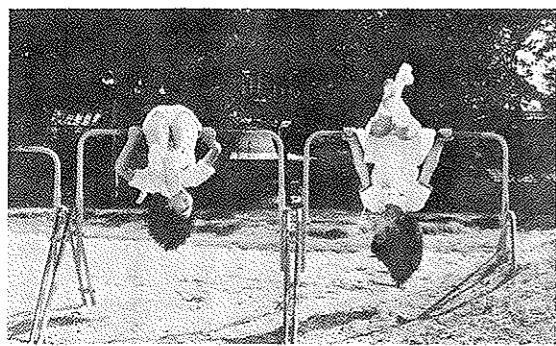
しかしながら経験が浅く未熟な私故、今後いろいろと御迷惑をおかけすることが多いと思われまます。どうぞよろしく御指導の程、お願い致します。

藤井美佐江

今春より、この羽津小学校に新採として勤務させて頂くことになりました。

この度、羽津小学校へ給食婦として勤めさせて頂くことになりました。総てが初めての経験で給食室の設備、規模の大きさに驚ろきつつ、何もわからぬまま早や、一ヶ月近く過ぎました。良き先輩方を見習って、子供達が喜んで、食べてくれる姿を想像しながら、おいしい給食作り頑張りたいと思ひます。どうぞよろしく御指導下さいませようお願いします。

山川みき代



教師生活の第一歩をこの学校で踏み出した訳ですが、何もかもが初めての経験であり、緊張と戸惑いを感じつつ、早く子供達に、先生方に、学校に溶け込もう、慣れようと必死になつてゐるうちに早や一ヶ月が過ぎてしまつた気がします。

この学校に赴任して、まず自分の通つていた小学校と比べ何倍も生徒数の大規模さに驚き、そして、それにも増す羽津っ子達の伸び伸びとした元気な姿に驚きと頼もしさを感じました。

この一年間で経験する事全てが私にとって勉強であり、子供達と共に成長して行きたいと思つております。何分にも全くの未熟者です。御迷惑をおかけすることも多々あると思ひますが、よろしく御指導の程お願い致します。

近藤 依子

羽津小学校：と聞いただけで胸がふるえました。学校は、子ども達は、保護者の皆さんは、一体ど

教師の願い

こんな子をめざして

一年担任

入学してもう一ヶ月半、ようやく学校生活に慣れ緊張もほぐれてきたこの頃です。

子どもにとって小学校への入学は、成長の一つのふしです。と同時に生活の大きな変化です。この機会をとらえ、心身ともに、たくましく成長することを願つて、次の点に努力したいと思ひます。

- ・ 自分で、できる子に。
- ・ 助けを待たずに、事に当てるような心がまえを持った子に。
- ・ きまり正しい子に。
- ・ きちんとあいさつもでき、よくそくを守つて、友だちにめいわくをかけない子になる。
- ・ 運動に親しむ子に。
- ・ 外で元気に遊んで、体力をのびし、健康な体をつくる。
- ・ こんな子をめざして、それぞれの個性を大切に、もち味を充分生かしていきたいと考えています。



のように私を迎えてくださるだろう。初めて教師という職業につき、期待と不安が入り交じつた複雑な気持ちで胸がふるえました。

でも、その紀要は、子ども達と初めて出会つた時、一度に吹き飛んでしまいました。なんと明るく活発なこと、そしてよく話し合つてくれること。私は、この羽津の子ども達に大きな魅力を感じました。

これも、先輩の先生方や、保護者の皆さんの教育に対するご熱心さの現われであると思ひました。未熟な私ではございますが、精いっぱい子ども達のために頑張つて参りたいと思ひます。なにとぞ、よろしくお導き下さいますようお願い致します。

先生一年生として

秦 佳子

今日も、あわたたしく一日が過ぎていきました。こうして夜一人で静かに一日のことをふり返つてみると、「また、へたな授業をしてしまった」とか、「あのとき、あんな言い方をしなければよかった」と、後悔ばかりが頭に浮かんできます。

初めて教壇に立つてから、はや一ヶ月余り、四年三組四十二名のやんちゃ盛りの子供たちを相手に悪戦苦闘の毎日です。「先生」と呼ばれることにもようやく慣れ、

教室で、運動場で、職員室で、失敗をくり返しながら、勉強してまいります。子供たちはとても素直でかわいのですが、それだけに、私をよく見ていて、きびしい批判をポンポン投げかけてきます。授業がおもしろくないと、すぐ顔や態度に表します。「先生は〇〇するからいやだ」と率直に言います。

でも、うれいときはそれをからだしゅうで表現してくれまます。これから先も、子供たちからいろいろなことを学び、また、私自身も勉強していかなければいけません。若さを武器に、体当たりでがんばりたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

松岡 正子

四月より学校栄養職として、緑豊かなこの羽津小学校へお世話になることとなりました。

ようやく一ヶ月が過ぎ、学校にも慣れてまいりました。しかしながら、今年から初めての事ですので、戸惑うこと頻りでありまます。

一生懸命努力して行きますが、まだ未熟者ですので先生方のよき御指導をお待ちしております。よろしくお願ひ致します。また、皆さんと親しくおつきあいできたらと願つております。

も最も重要だと思ひます。

・ きまりを守る子

子供の体験を支えている家庭で毎日自分の服をたたく、パジャマを片付ける、お手伝いをするなど親子の約束、決まつた役割など生きた体験が後退してないでしよるか。させられる一進んでする経験を生かして子供達で、できる約束よ約束 永続するよいきまりをつくりみんなを守るようにさせたいものです。グループで、学級の集団の中できまりを守るためには、忍耐力や継続心が大切です。反省もし自律性も望まれます。気長に子供を見つめて伸ばしたいと思ひます。

学年のはじめに

三年担任

お子さまも、低学年から中学年へと、たくましく成長しつつあります。二年生と比べて活発で行動的になります。体力もだんだんついてきて、行動範囲もたいへん広くなります。このようなことをふまえて、次のようなことに特に留意して、楽しく学習し運動したいと思つていきます。

- (1) 落ちついて学習すること
- 現在、とにかくさわさわ落ちつかない。回りが静かにしなければいけないときでも、自分の気持ち

のまま動いてしまふ。また、落ちつきがないため、忘れ物が多い。ノートの字が乱雑である。このことを矯正したい。

(2)先生や友達の話の終わりでよく聞くこと

どんなことでも、まず自分の目でよく見る。それから、よく聞き、よく考えるようにさせたい。

(3)仲間意識を育てること

低学年では、遊ぶとき、二、三人で遊んでいたのが、三年生になると五、六人のグループをつくり、自然に遊びの約束事をつくり上げていく。このような意欲を学級内でも、いろいろな面に生かして、ボスの存在をつくらないよう、正しいグループ活動をさせたい。

子どもらに太陽を

四年担任

昔から「子どもは風の子」と言われているのに、今は町にも村にも風の子の姿は減り、テレビの子マンガの子、塾の子になってしまった。この子どもたち、自然と自由を与えてやると、本来の風の子、太陽の子にしなければと思う。子どもは伸びるもの、伸ばすべきもので、その一人一人は無数の生命力と可能性を持っている。そして自然の中から自然に育つ力がある。しかし現代では、「早く芽

を出せ柿の種」と、促成栽培をするように、知的な面にのみ刺激を加えた育て方をしている。心のない欠陥人間が育ちつつある感がある。自然の発育に任せて、心とからだの知識とをともに調和させながら育てなければならぬ。決してあせらず、それよりも、ゆつくり芽を出せ柿の種。「しっかり根を張れ柿の種」と言いたい。そしてあせらず着実な育て方を

して、冬の寒さにも、夏の暑さにも耐え抜く、心身ともに丈夫な子どもに育ててはならない。しかも、この子どもたちは、やがて二十一世紀の扉を開く子どもたちである。この子どもたちが、豊かな心、自由な心、自分で立ちどする心を持つ、本当の真理を追求してやまない、強い、たくましい人間になってもらいたいと願うものである。

小集団活動

五年担任

進級して一か月たち、もう五年生としての心構えはできてきている。昨日、どうやら子供たちにも落ち着きを感じられる。

五年生は集団の中の一員として目覚め、生活にも意欲を持つ。申学年までの父母や教師に認められたいという傾向から、仲間認め

られることに喜びを感じるようになるのである。生活面学習面ともに、グループ行動をさせることにより、相互関係を理解し、広めていくことを一つの課題とした。

高学年の仲間入りをすると同時に、学校の仕事も責任が重くなり、学習内容も増えてくる。何ごとにも自覚を持った態度で当たるように育てていきたいと願っている。

きびしいしつけを

六年担任

ある雑誌の中に、フォト・ジャーナリストの吉田ルイ子さんが書かれた次の様な文が掲載されていました。

(原文) 私がニューヨークの広告会社で働いていた頃の話だが、世界各国の肌の色の違った子供たちの写真をスタジオで撮影していた時だった。日本の子のモデルとして母親に連れてこられたのは、ニューヨーク駐在の商社マンの家庭の五つになる女の子だった。

着替え、セツトに母親はつきつきり、そして、子供が「水」と叫べば、「ハイ」と母親は水道にかけ出し、「チヨコレイト」と叫べば、わざわざ菓子屋にとんでいき「疲れた」といえば、「すみません、一寸やすませてやって下さい」とフォトグラファーに頼みこむ。

一方、他の国(アメリカ、イタリア、ガーナ等)の子供たちの場合、まだ小学校に入っていない子でも一人でスタジオに来る子もいたし、母親が家族がついてきても撮影セットに付添っていないで控室で本を読んだり、他の母親たちとしゃべって、子供の仕事を終るのを待っている。ましてや、「水」と叫べば、「自分で飲んでらっしゃい」足があるんでしょ、とたしなめる。「疲れたナ」といっても、「よわ虫、お仕事」とさすとす。日本の女の子のわがままぶり、子供に盲従する母親の態度をみて、私のアシスタントをしていたアメリカ人の青年が、「日本の子ってみんなあんなに甘やかされてるの?」とあきれていた。

同じ日本人として私はどうにも恥ずかしくてしかたがなかった経験がある。

以上の文を読み私も吉田さんと同じ様な感じを持ちました。日本の家庭ではこの様に甘やかし過ぎる傾向があります。これは、核家族でかけがえのない数少ない子供だから大事に(?)育てようという親の気持ちからだと想います。しかし、その結果起ってくるものに自殺、登校拒否、家庭内暴力等です。この中のどれか一つでも経験された親の嘆き、悲しみ、苦勞は並大抵のことではないようです。

昭和五十五年度 役員



兄弟姉妹が多い子供、多少ほったらかしの子供、きびしい家庭の子供、は強く育ちます。今からでも遅くありません。そ

の子にあった「きびしいしつけ」を学校と家庭で協力して、強い子供に育てていこうではありませんか。

◎本部役員

- 会長 森 憲一 羽津一
- 副会長 小川 良二 羽津二
- 書記 藤井 久子 城 山
- 書記 伊藤 淳一 別名四
- 書記 早川 和宏 富 士
- 監査 藤井 直之 別名五
- 平田 幸子 八田一
- 学校側 村上校長・古市教頭
- 小林・平子

◎専門部部长

- 文 化 清家 光子 羽津山
- 福祉保健 長島 貞宣 緑か丘
- 環境整備 森 宗一郎 別名四
- 母親 安藤多恵子 羽津山
- 安 全 奥岡 辰男 大宮西

◎学年代表

- 一年 佐藤 千歳 城 山
- 二年 加藤 巳善 大宮東
- 三年 木村 淑朗 霞ヶ浦
- 四年 小平 長 別名二
- 五年 玉野 武 別名三
- 六年 石田 順彦 羽津山

◎町代表・町委員

- 霞ヶ浦 田本 和子 木村多華子
- 白須賀 服部 健彦 伊藤 祐吉
- 富 士 戸田 信行 清家 伸彦
- 金 場 渡辺 彰男 森 克巳
- 八田一 柳沢 安徳 林 功
- 八田三 後藤 貞吉 広瀬 正敬
- 羽津一 森 憲一 山下 隆正
- 羽津二 羽木 健広 青井 文範
- 羽津三 荒木 照雄 山本 光友

◎学級委員

- 川村 芳民 別名一

- 羽津中 仲村 信幸 向井 弘子
- 城 山 近藤 正美 森 克弘
- 羽津山 谷口 勝巳 森 紘次郎
- 大宮南東 久米 巖 小谷 勇次
- 大宮北 鷲塚 隆司 須藤 啓一
- 大宮西 伊藤 正道 須藤 実
- 別名一 河瀬 良弘 沼田 直
- 別名二 小池 一巳 鈴木 昭二
- 別名三 小川 進吾 小野 重行
- 別名四 森 良和 高橋 明光
- 別名五 伊藤 一之 森 孝太郎
- 別名六 高井 清博 藤田 耕二
- 山 手 川島 豊文 水谷 昌肆
- 緑か丘 齊藤 邦雄 一圓 昌雄
- 鵜 安田 勝英 安田 幸造
- 田中 幸夫 田中 幸夫
- 鈴木 洋二
- 竹尾 孝生 羽津中
- 森 勇 別名一
- 清家 忠男 羽津山東
- 森 宗一郎 別名四
- 大和 勉 羽津山西
- 井上 久 大宮西
- 佐藤 俊生 城 山
- 福田 信行 大宮西
- 森 俊夫 別名四
- 藤井 義信 大宮西
- 松永 司 大宮西
- 谷口 明 山 手
- 西山 亮一 山 手
- 田中 勝利 八田三
- 清水 洋 南いかるが
- 森 誠 別名四
- 脇屋 博 別名三
- 加藤 巳善 大宮東
- 進戸 忠男 別名四
- 藤本 勝 別名三
- 中川 宏 南いかるが
- 山田 康明 別名一
- 山根 美幸 羽津三
- 平谷 次郎 大宮西
- 森 逸郎 羽津二
- 山本 達男 大宮西
- 森本 光生 緑か丘
- 吉崎 幹夫 羽津中
- 安藤 信行 羽津山
- 奥岡 辰男 大宮西
- 木村 徹朗 大宮西
- 岩田 敏員 山 手
- 鬼頭 洋二 羽津山西

三六	森	貢	別名四
四一	山本	幸生	南いかるが
四一	鹿野	徹	羽津一
四二	坂口	武夫	緑ヶ丘
四二	藤井	英典	大宮南
四三	小平	長	別名二
四三	原	義勝	羽津中
四四	正木	基明	別名二
四四	仲	勲男	山手
四五	森	義昭	山手
四五	赤塚	弥	八田一
四六	佐藤	賢治	大宮南
四六	千賀	久善	八田三
五一	今野	浩延	別名二
五一	二宮	和彦	大宮東
五一	掛下	八朗	山手
五二	味香	祥平	大宮東
五三	玉野	武	別名三
五三	石井	直継	南いかるが
五四	長崎	禎	羽津山東
五四	出口	栄三	別名一
五五	服部	香苗	別名二
五五	森	幸三	別名一
六一	水谷	正勝	別名六
六一	長島	貞宣	緑ヶ丘
六一	藤井	宏崇	鶴
六一	尾崎	勝人	別名二
六一	原田	晏	羽津山西
六一	伊東	国男	羽津一
六一	松崎	武夫	大宮南
六一	山下	英	大宮東
六一	伊藤	勉	山手
六一	岡屋日出雄	別名三	
六一	石田順彦	羽津山東	

専門部だより

各部門が知恵を合せて、楽しい部にしようがんばっています。皆さまの御協力、御参加をお待ちしています。

▲文化部

部長 清家 光子

この度、未熟な私が、文化部長という大役を仰せつかり、その責任の重大さを痛感し、先輩の残された「しでがの」を熟読している毎日です。

伝統ある文化部が、PTA会員皆様の「声の広場」、「情報交換」、「学習」の場となりますよう、部員が一体となって、行事活動を進めて参る所存でございます。皆様の暖かいお力添えと御指導をお願い致します。

▲福祉保健部

部長 長島 純子

小学校に於ける福祉保健について、改めて考えてみますと、色々問題点があげられるかとおもいますが、心身共に健やかであれと希いつつも 私達親は、どこかで誤ってしまっているのでは……と懸念を抱き又、くよくよ考えても始まりぬと、投げやりになつてし

まったり、その様な時、小さなグループで、真剣に悩みや、相談を話せる父兄であるなら幸いかと思います。

以上のように計画致しておりますが、本年度は待望のプール、体育館が建設されますので、その建設状況に合わせて、必要な整備作業をお願いしなければならぬように思っております。この点についても格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い致します。

▲環境整備部

部長 森 宗一郎

このたび図らずも本年度環境整備部長の大役を仰せつかりましてその責務の重さを痛感している次第です。

▲母親部

部長 安藤多恵子

「PTA活動」「文化活動」の本質はまだ十分に理解できていない私が、この度母親部長という大役を仰せつかりまして責任の重大さを痛感している次第でございます。幸いにして今年の本部役員の皆様は経験の深い立派な方ばかりですのでこの一年間色々御指導を賜りましてより充実した母親部活動を行ってまいりたいと思っております。現在PTA活動は、役員様のみの活動に終わっているのが実情でございます。末端会員まで意識を浸透させるにはどのようにすればいいのか？ それにはまず会員に魅力のある活動を計画する事が、第一だと私は思います。部活動に

委員会だより

第1回常任委員会 四月 十五日

・全員委員会事項について

・PTA総会について

・本部役員候補について

第1回全員委員会 四月二十一日

・昭和五十五年本部役員選出

・学級委員学年部会

・学年代表委員選出

・専門部別会

・部長・副部长選出

・年間活動計画

第2回常任委員会 五月 八日

・PTA慶弔規定について

・関係他団体への役員派遣について

・救急実技講習について

・給食試食会について

・各専門部の年間行事計画について

・PTA傷害保険の加入について

・専門部副部長の常任委員会出席について

・保険団体よりの支出について

・五月の学校行事について

しましても「集めるPTA活動」から「集まるPTA活動」にするように色々計画していきたいと考えております。今年の母親部活動の行事予定は

今年はお母さんが主役

※母親部

コーラス部を結成しますの
で、会員皆様の入部をお待
ちしています。

※安全部

覚えて見ませんか。救急そ
生法及び一般応急処置法。
(詳しくは、おつて御案内

PTA母親会員が活動を通じて
広く会員拡大を計り、連帯の輪を
広げていきたいと願っております。
未熟者ではございますが皆様方の
御指導、御協力を心よりお願い申
し上げる次第でございます。

▲安全部

部長 奥岡 辰男

この度、安全部の仕事をさせて
頂く事になりましたが、一年間無
事にやり通す事が出来るかと不安
で一杯です。
前部長さんの言葉を借りますと、
安全部は水鳥(児童)の足の役目
だと言われましたが、その足も皆
様の御協力のもとに、初めて足と
しての任を果たす事が出来ると思
うのです。
若輩ものの私ですが皆様の御助

致します。

※福祉保健部

例年の給食試食会を、九月
のグリーンスクール期間中
に行わせていただきます。

※環境整備部

プール、体育館ができます。
花と緑で飾りましょう。

※文化部

四日市々の文化施設めぐり。
夏休み親子で陶芸教室を



S 5 5 年 度 専 門 部 活 動 計 画

羽津小学校 P T A

	文 化 部	環 境 整 備 部	福 祉 保 健 部	安 全 部	母 親 部
4月	学 習 参 観				
5	部会・アンケート 依頼、しでがの発 行(70号)	部 会	部 会	部 会	部 会 お母さん勉強室
6		花壇作り、現在プ ール南側の清掃	親善 ソフトボール大会	交通教室、 立哨委員会	料 理 教 室
7	しでがの発行 (71号)			自転車点検、危険 箇所巡視、救急実 技講習会	料 理 教 室
8	陶 芸 教 室	環 境 整 備 作 業 (全 員)		危 険 個 所 巡 視	
9			給食試食会		
10			バザー		料理教室 バザー
11	両親学級と講演会				家庭教育講座 (下旬より3回)
12	しでがの発行 (72号)			危険箇所巡視 地区内パトロール	
1					
2	学習参観と懇談会				料 理 教 室
3	しでがの発行 反省会(73号)	プール、体育館完 成後の回りの整備	反 省 会		反 省 会
備考	アンケート依頼 文化施設めぐり	年2~3回焼却炉 の掃除			コーラス 月2回 (山本文先生)

◇ 次号「しでがの」は七月発行の
予定。次会をお楽しみに：。

◇ プール、体育館の工事現場には
興々も遊びに行かせないで下
さいね。

◇ 梅雨の季節がやってまいりまし
た。皆さま、お子さまの健康管
理に十分 留意して下さい。

◇ P T A 新聞「しでがの」は皆さ
まの新聞です。
皆さまの生のお声をお聞かせ下
さい。担任の先生、又は投書箱
へどしどし御投稿下さい。

◇ 五十五年第一号をお届けしま
す。
編集部員二十八名で作成、未熟
な者達ばかりですが、一年間、
一生懸命がんばりたいと思いま
すので、よろしく願います。

で
す
く
ど
さい

